

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID:2023004591

事業名: 宮城県に白石市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの開設と運営と車両整備(1年目)

団体名:特定非営利活動法人アスイク

代表者名:代表理事 大橋雄介

TEL:022-781-5576

事業完了日:2024年3月31日



■契約時

事業費総額	:	61,680,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	61,680,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	59,245,246 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	246 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	59,245,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	2,435,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

【事業内容】
1. 宮城県白石市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの開設
(1)物件現況:更地(本助成による新築)
(2)取得形態:関連法人からの賃借
(3)工事内容:木工事、電気工事、空調設備工事、設備配管工事、弱電工事、サイン工事、付帯工事、車両整備等
(4)施設名称:しろいしきち
(5)面積:336m²
(6)構造:木造
(7)施設概要:食事・交流・学習スペース、キッチン、お風呂、相談室など

(2)事業完了時の事業内容(実績)

【事業内容】
1. 宮城県白石市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの開設
(1)物件現況:更地(本助成による新築)
(2)取得形態:関連法人からの賃借
(3)工事内容:木工事、電気工事、空調設備工事、設備配管工事、弱電工事、サイン工事、付帯工事、車両整備等
(4)施設名称:しろいしきち
(5)面積:336m²
(6)構造:木造
(7)施設概要:食事・交流・学習スペース、キッチン、お風呂、相談室など



(3)成功したこととその要因

ほぼ予定通りに建物を建設することができた。

(4)失敗したこととその要因

インターネット開通が3月に差し掛かってしまった。2月早々から工事を依頼していたが、繁忙期ということもありスケジュールに遅れが生じてしまった。

(5)事業内容詳細

事業成果物等参照。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2. 宮城県白石市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営
(1)期間:2024年2月1日～2024年3月31日(週5日、14時から20時頃まで開所)
(2)場所:宮城県白石市
(3)対象:20名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。

(2)事業内容の実施(完了)状況

2. 宮城県白石市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営
(1)期間:2024年3月(週5日、14時から20時頃まで開所)
(2)場所:宮城県白石市東町2丁目9-33
(3)対象:12名(家庭や自身に課題を抱えた小学生11名、中学生1名)
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。3月中は子どもや家庭との関係づくりに注力した。学習・生活支援事業と連携することで、中学生利用者に対しての学習支援をより丁寧に実施。



(3)成功したこととその要因

開所に向け、市福祉課と運営内容や利用世帯の選定など実施していたことで、開所前から関係者への事業周知やスムーズな利用受け入れを行うことができた。

(4)失敗したこととその要因

工事の関係で開所スケジュールが若干遅れてしまった。

(5)事業内容詳細

事業成果物等参照。

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

[Empty box for contract phase content]

(2)事業内容の実施(完了)状況

[Empty box for implementation phase content]



(3)成功したこととその要因

[Empty box for success factors]

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・2024年2月1日までに「子ども第三の居場所」常設ケアモデルを開設する
- ・運営開始までに関係各所(自治体・学校・SSWなど)へ事業の説明会を実施する(運営事業)
- ・2024年3月31日までに一日平均利用児童数を10名にする
- ・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に1回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	597	文字数チェック	OK
-------	-----	---------	----

・建物の竣工は1月に完了したが、開所日は約1か月遅れ、2/29となった。外構工事の遅れがあったこと、当初開所式を2/19としていたが、市の都合により2/29に変更になったことが要因。
・運営開始までに、白石市校長会、民生委員主任児童委員研修会、要保護児童対策地域協議会で事業周知を実施。R6年度に再度白石市校長会での周知の提案、要保護児童対策地域協議会の構成員参加の提案をいただいている。
・3月末時点の一日平均利用者は3.15名。登録児童は12名を達成。利用登録曜日にばらつきがあるため一日平均利用者は少ないが、白石市は広域のため送迎対応が可能かなど様々な理由により受け入れ調整をしていることが要因。
・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供を実施している。
・開所式や見学会を経て、学校や行政との関係構築は順調。児童の情報共有や受け入れについての相談など実施できている。ボランティアに関しては既存事業で長期で活動休止となっていた方へ活動提案したことで3月中から活動を開始してくださっているが、地域的に若い世代のボランティアの充足が課題。
・イベントに関しては開所間もないため日々の過ごしの中でできる誕生日会などの小規模のイベントを実施。4月以降、花見など季節感のあるイベントや、児童から希望を聞くなど児童主体のイベントが実施できるよう関係構築を行っているところ。

3.事業実施によって得られた成果

・これまで既存事業において把握していた困難な家庭に対し、送迎を担うことで児童が利用できる環境が整ったこと、対象外となっていた世代のきょうだいや児童を子ども第三の居場所事業で支援することができるようになった。
・2024年度中に登録児童20名、一日平均利用15名を目指したい。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

・開所前からの事業周知の結果、家庭や関係機関からの問い合わせを多くいただいている状況。その反面、要対協など必要とされる家庭が利用できるよう受け入れに関しては市の担当者と連携し、スクリーニングをしていく必要がある。
・送迎に関して、市が広域であるから故、送迎車1台では対応が難しくなってくるのが早々に予想される。曜日によって地域を分けて受け入れていくなどの対策が必要な状況。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください↓

https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2022/03/gra_gui_32.pdf
(なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。

2023年度 収支計算書

2023年 4月 1日から 2024年 3月 31日まで

団体名: 特定非営利活動法人アスイク

事業名: 宮城県白石市における「子ども第三の居場所」常設
ケアモデルの開設と運営と車両整備(1年目)

事業ID: 2,023,004,591

(単位:%)

契約書(記3)に記載の補助率 100

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	受入済額 (C)	未収額	助成金返還見込額
				自動計算(A-C)	自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	61,680,000	59,245,000	61,680,000	0	2,435,000
② 自己負担		246	246		
③ 収入合計	61,680,000	59,245,246	61,680,246	0	2,435,000

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の 予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額	補足説明、備考
				自動計算(y-z)	
給料手当	2,714,000	1,669,507	1,157,292	512,215	
印刷製本費	451,000	395,100	395,100		
旅費交通費	56,000	126,558	118,881	7,677	
通信運搬費	26,000	25,610	1,176	24,434	
消耗品費	50,000	604,499	468,643	135,856	書籍、調理用品等を含む
水道光熱費	90,000	47,922	47,922		
保険料	90,000	64,724	64,724		
食材費	100,000	34,284	20,202	14,082	
使用料	34,000	40,420	27,891	12,529	
本工事費	46,321,000	46,165,000	46,165,000		
設計管理費	6,770,000	6,454,576	6,454,576		
備品費	4,975,560	3,617,046	3,617,046		
支出合計(端数調整前)	61,677,560				
端数調整欄	2,440				
④ 支出合計(端数調整後)	61,680,000	59,245,246	58,538,453	706,793	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生
有り

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力の間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計 = 予算額 (x)④支出合計	OK
決算額 (B)③収入合計 = 決算額 (y)④支出合計	OK
受入済額(C)③収入合計 - 助成金返還見込額 = 支出済額(z) + 未払額④支出合計	OK

セルフチェック項目 (プルダウンで選択)

<input checked="" type="checkbox"/>	① (収入の部)の予算額 (A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と (支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。